



新田 勝見 議員

一問一答方式

米価下落 市独自の支援策は

市長 J A、県と一緒に国に要望する

問.....

「コロナ禍にあつて、米の消費減により米価が大幅に下落した。担い手不足、高齢化等により、遠野市の基幹産業である農業は危機的状態にある。市独自の支援策、販路について問う。」

答(市長).....

米価については、農協や県と一緒に頑張って、国に要望していく動きはできると思う。販路については、外国への輸出や飼料用米など、生産性と価格を見

据えながら進める。

問.....

昔より馬と共に生活を共にしている遠野市にあつて、乗用馬市場や農用馬の販売等、馬山地としての確立を目指すもつと馬産振興に力を入れては。

答(市長).....

乗用馬市場においては、馬の数は非常に寂しいが現実である。あとは上昇するだけでチャンスと捉えている。販路を開拓し、ニーズを捉えて、マーケティング

ング調査する必要がある。リサーチを指示している。

畜産振興公社の経営改善を図り、職員のモチベーションを掘り起こし、改善していく。農用馬に対しても重点を置き、市の多様性とということにも対応していきたい。

所信表明に対して何う

市長 遠野市は守るべき家族

問.....

イチ市民の立場から見ていると市長に就任されてからの遠野市及び遠野市役所の印象について何う。

答(市長).....

私にとって遠野市及び遠野市役所は『守るべき家族』だと考えている。市民の立場では見えなかったが職員は市長の考えを汲み取り表現しようとする苦勞を抱えて仕事をしていた。市長、市議会議員などの立場を超えてやりたいことを実現す

るためリードしていく。

問.....

現在の財政の状態について何う。

答(市長).....

令和7年には財政調整基金が8億に減ってしまう可能性もある。使えるお金は少ないが大胆に支出しなくてはいけない時があると考えている。しかし財政調整基金があと3億円あったら色々なことができるのというのが率直な感想。

問.....

選挙戦で5つの提案をしてきた。財政の状況を見るとすぐ着手できないのではないか。

答(市長).....

着手できることとできないことがある。頭を使ってお金を生み出し、順番を決めてやる方向を探す。

問.....

現時点で予算の使い方、優先順位があれば何う。

答(市長).....

予算の使い方、優先順位を決めるには検証をしないといけないと考えている。市民の声を聞き、将来・地域等のバランスを見ながら、課題を市民が見える化して進めていく。



小松 正真 議員

一問一答方式

予算の使い方は

市長 しっかりと検証してから判断する

問.....

小さな拠点づくりの中で心配されるのは、交通弱者の対応についてであり、数年に渡って当局と議論を交わしてきたが、未だ結論に至っていない。

免許返納者も増えてきたし、バス路線の縮小、住民の高齢化など足の確保が重要課題だが、市長の考えは。

答(市長).....

これからは、家の前につけられる交通システムが必要である。遠野にはタクシー会社が

問.....

正しい検証を行わなくては前に進めない。検証を行う方法について何う。

答(市長).....

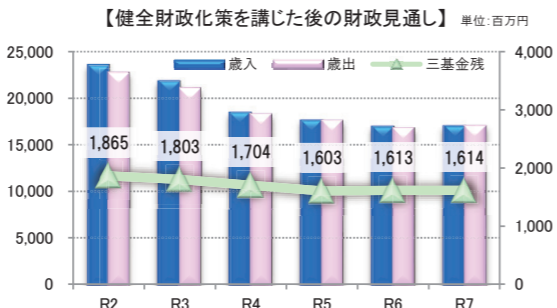
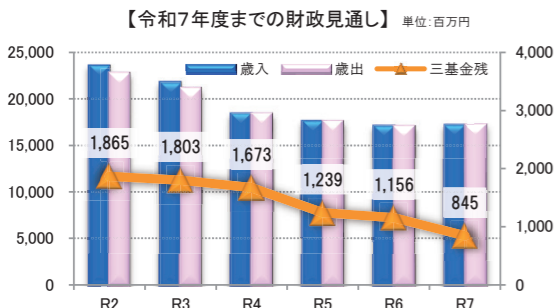
市長主導・監査主導など様々な検証方法があると考えている。事業に関係してきた人に参画してもらいながらお金だけではなくて事業等の良し悪しをしっかりと検証を行う。

問.....

どのような検証方法でも多くの市民に参画してもらいたい。同じ顔触れにならないような仕組みづくりをしていただきたい。

答(市長).....

確かにそのとおりなので参考にしたいと考える。



小さな拠点における交通対策は

市長 タクシー3社も含めた交通システム必要。自動運転も視野。



問.....

小さな拠点づくりの中で心配されるのは、交通弱者の対応についてであり、数年に渡って当局と議論を交わしてきたが、未だ結論に至っていない。

免許返納者も増えてきたし、バス路線の縮小、住民の高齢化など足の確保が重要課題だが、市長の考えは。

答(市長).....

これからは、家の前につけられる交通システムが必要である。遠野にはタクシー会社が

3社あり、このシステムも活用しない手はないと考えている。なぜなら、タクシー会社も人口減少によって利用者が減ってくるが、無くなってしまうのは困る。そこで、公共交通の一つとして、存続できるようなプランを一緒に進めていかなければならない。地域に入って説明していく予定であるが、特区による自動運転などを絡めても良いと考える。